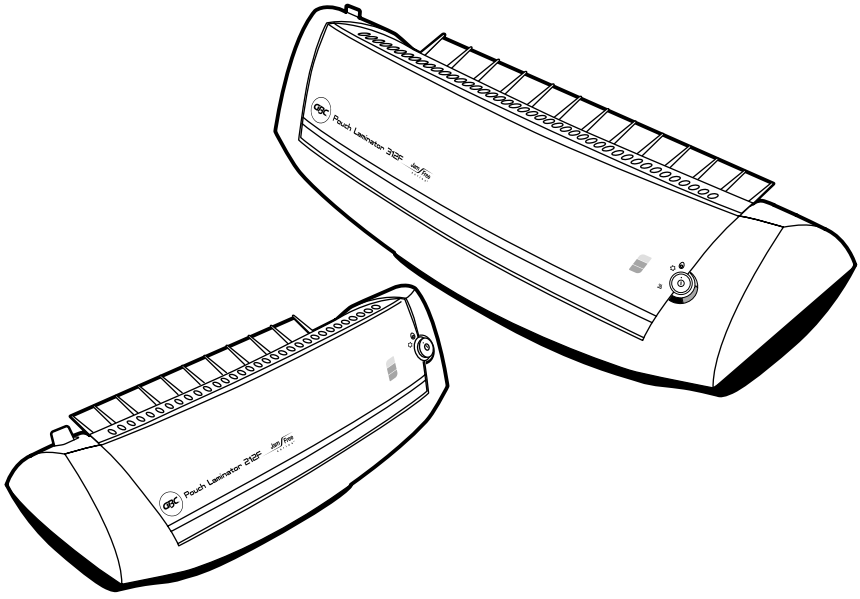
# 取 扱 説 明 書

## パウチラミネーター
# 212F/312F




日本ジー・ビー・シー株式会社
www.gbc-japan.co.jp
A Subsidiary Of ACCO Brands Corporation

〒164-0012　東京都中野区本町1-32-2　ハーモニータワー
TEL. 03(5351)1801　http://www.gbc-japan.co.jp

## はじめに

**このたびはGBCパウチラミネーターをお買求めいただき、
ありがとうございました。**

**ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき,
末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。**

## 目　次


1.内容物の確認 …… 1

2.ご使用上の注意 …… 2

3.各部の名称と働き …… 4

4.ラミネート作業上の注意…… 6

5.ご使用の前に …… 8

6.操作方法 …… 9

7.お手入れ方法 …… 13

8.こんなときは …… 14

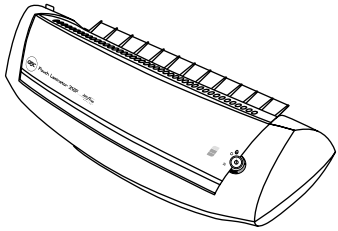
9.製品仕様 …… 15

◆保証とサービス

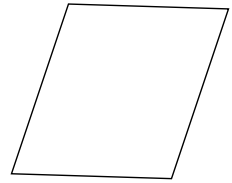
## 1・内容物の確認

**下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。**

**マシン本体**

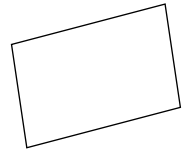


**クリーニングペーパー**



**取扱説明書（本書）**

**ラミネーター使用時の注意書き**



**※お手元に置いてご使用になることをお勧めします。**

# 2・ご使用上の注意

## 表示の意味

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

**安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。**

## ⚠ 警告

危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。
※思わぬけがをする恐れがあります。

マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になることがあります。
万一引き込まれたときは電源ボタンを“ オフ ”にして取り除いてください。

濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
※感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたり、しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

**万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。**
**※火災、感電の恐れがあります。**

## ⚠ 注意

**本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。**

**絶対に可燃物(セロハン等)、軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン)は入れないでください。**
**※火災の恐れがあります。**

**ラミネーター操作中はそばを離れないでください。**
**また、加工を終了した場合は電源スイッチを必ずオフにしてください。**

**絶対に本体の上に物を置かないでください。**
**※本体上面は高温になります。**

**本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム取出口側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。**

**冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。**
**※火災、感電の恐れがあります。**

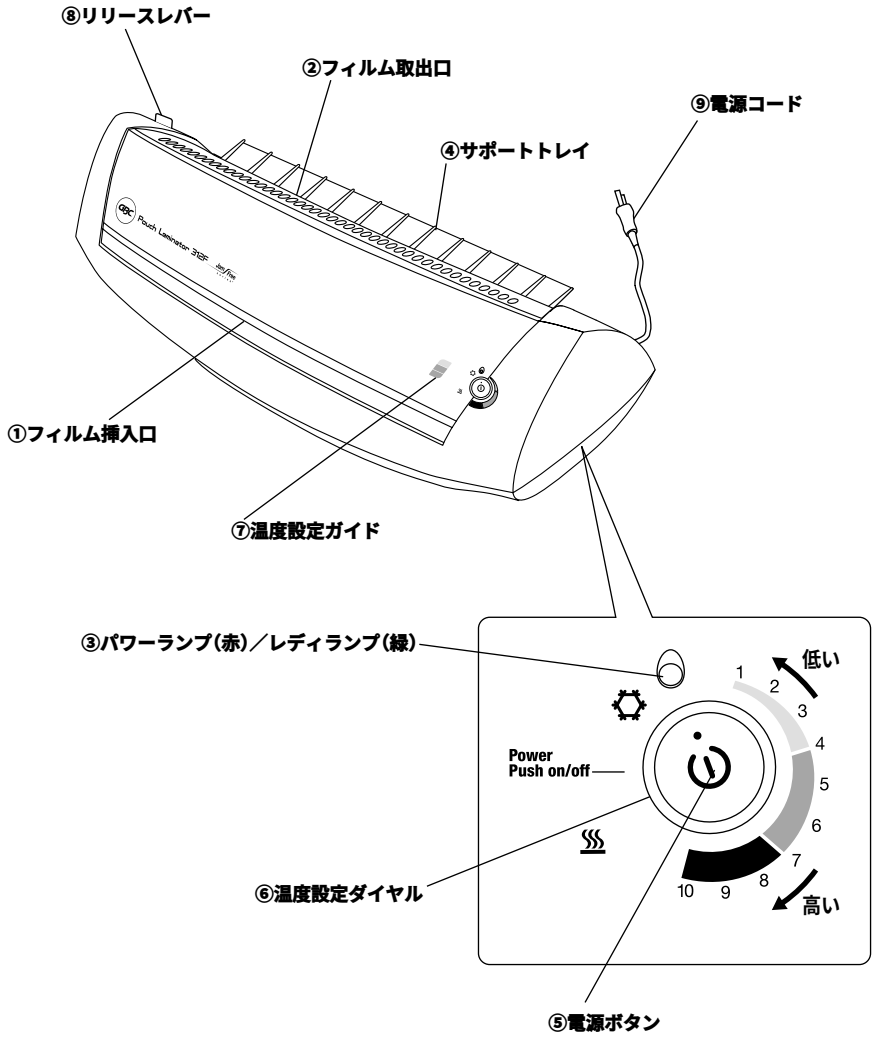
**本機に水などをかけないでください。**
**※火災、感電の恐れがあります。**

**電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。**
**※火災、感電の恐れがあります。**

**必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにものをおかないでください。**

**電源は必ずAC100V 電源をご使用ください。タコ足配線はしないでください。**
**※火災、感電の恐れがあります。**

## 3・各部の名称と働き


⑧リリースレバー
②フィルム取出口
⑨電源コード
④サポートトレイ
①フィルム挿入口
⑦温度設定ガイド
③パワーランプ(赤)／レディランプ(緑)
低い
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
高い
Power
Push on/off
⑥温度設定ダイヤル
⑤電源ボタン

**①フィルム挿入口**
パウチフィルムにラミネートするものをはさみこんで、必ずパウチフィルムのシール部(接合部)側から挿入します。
**②フィルム取出口**
ラミネートされたものがここから排出されます。排出されたフィルムを取り出してください。
**③パワーランプ(赤)／レディランプ(緑)**
電源をオンにしますと、ランプが‘赤’に点灯します。また、ウォームアップが完了すると、ランプが‘緑’に点灯してラミネート可能な状態を表します。
**④サポートトレイ**
フィルム取出口に出てくるラミネートされたものを支えるトレイです。使用時はサポートトレイを水平になるようにセットしてください。
**⑤電源ボタン**
このボタンを押して、電源をオン・オフします。使用しない場合は、必ずオフにしてください。
**⑥温度設定ダイヤル**
このダイヤルを回して、コールドおよびホットラミネート温度を設定します。
数値が大きいほど設定温度が高くなります。
**⑦温度設定ガイド**
加工するもの・使用するフィルムに合わせ、このガイドを参考にして温度設定をしてください。
**⑧リリースレバー**
加工時にフィルムがフィルム取出口から出てこない時は、電源ボタンをオフにしてから、マシン背面にあるリリースレバーを押しながら、加工物をフィルム挿入口から引き戻してください。
**⑨電源コード**
マシン本体背面にある電源コードを、必ずAC100V のコンセントへ差し込んでください。

## 4・ラミネート作業上の注意

**このラミネーターは、『ジャムフリー(詰まり防止)』機能を搭載しておりますが、誤った使用方法をされるとフィルムを巻き込んだりすることがあります。
次のようなラミネートは絶対にしないでください。**

### ラミネートするもの

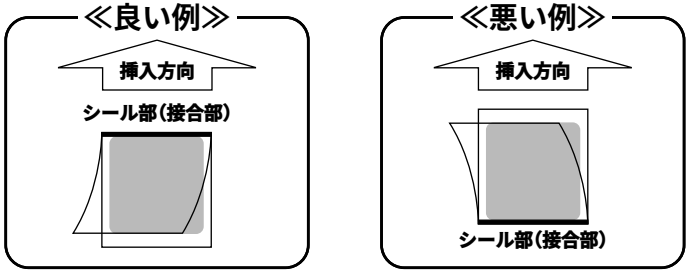
- ★ **このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユポ等はラミネートしないでください。**
- ★ **和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。**
- ★ **可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)は絶対にラミネートしないでください。**
- ★ **再生することが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。**
- ★ **フィルムを含めて厚さ0.8mm以上になるものはラミネートしないでください。**
- ★ **インクジェットプリント用紙はテスト加工をしてから加工してください。**

**★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。**

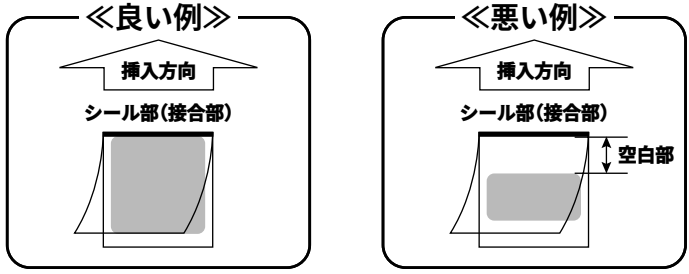
### ラミネートするとき

**重要** **ご使用になる前に必ずお読みください。**

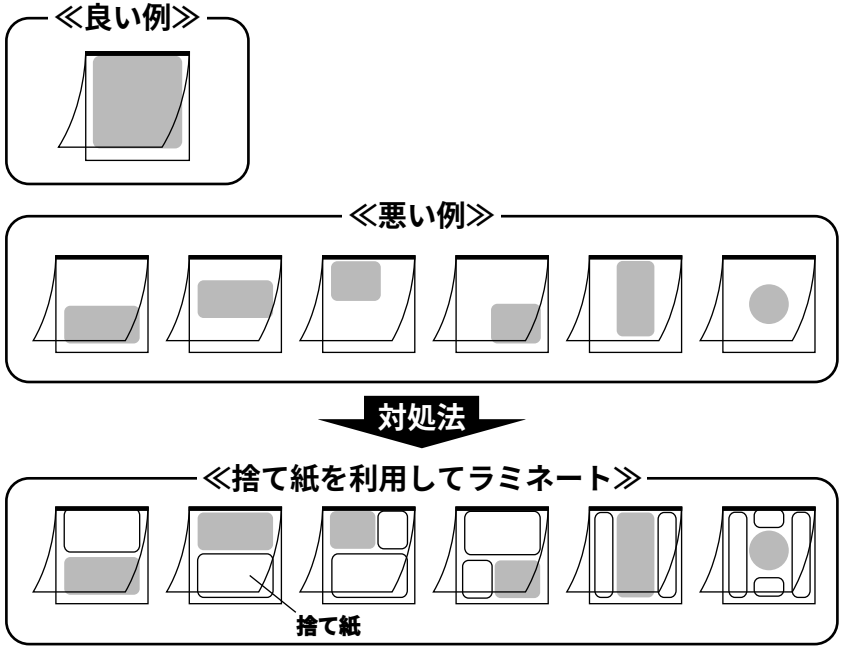
★ パウチフィルムは必ずシール部(接合部)からラミネーターに入れてください。
絶対にパウチフィルムのシールされていない側から入れないでください。詰まりの原因となります。



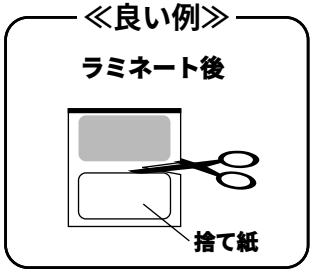
★ パウチフィルムのシール部(接合部)奥まで詰めて加工物をセットしてください。
挿入方向に空白部分があるとフィルムがカールして詰まりの原因となります。

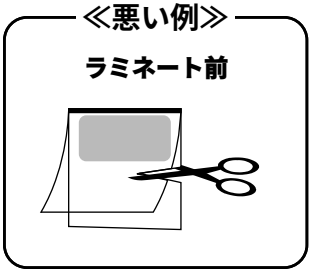



★ 加工物のサイズに合ったフィルムをご使用ください。
※フィルムサイズに合わない加工物は､捨て紙を使用してラミネート加工してください。
※フィルム先端部に余白部分を作らないようにしてください。
余白部分が多い場合はフィルム内部の糊がにじみ出て、糊がローラーに付着して故障の原因となります。
※凹凸のあるものはラミネート加工には適しておりません。故障の原因となります。



★ **ラミネートする前に、パウチフィルムをカットしないでください。詰まりの原因となります。捨て紙を使用してラミネートした後、カットしてください。**



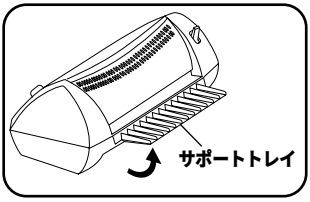




**⚠ 注意**

**間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。（有償修理対象となります。）**

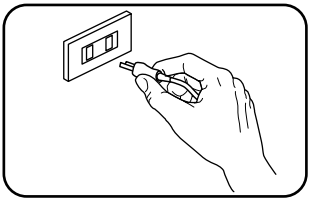
## 5・ご使用の前に

**マシン背面にあるサポートトレイを、フィルム取出口と水平になるように持ち上げて、ロックしてください。**

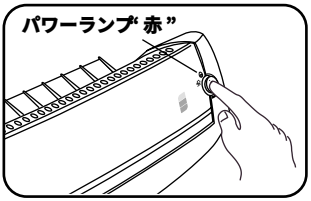


## 6・操作方法

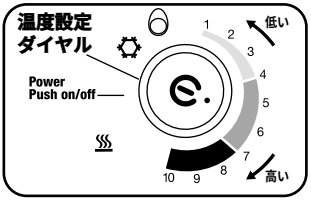
①電源プラグをコンセント（100V）に差し込んでください。
ブザー音が1回なります。



②電源ボタンを押してください。
パワーランプ／レディランプ“赤”が点灯し、ブザー音が1回なります。




③温度設定ガイドを参考に、温度設定ダイヤルを回してラミネート温度を設定してください。
温度設定ガイドに、ラミネートする用紙の種類・使用するラミネートフィルムの厚さに合わせて設定してください。温度設定ガイドは目安ですから適時調整してください。
温度を設定するたびにブザー音が1回なります。



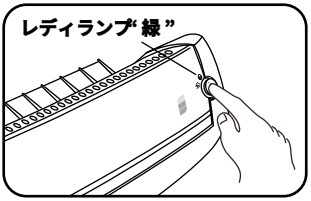

※温度が高すぎるとフィルム詰まりの原因となることもありますので、数字の低い設定でテスト加工して、適切な温度設定を確認してください。

| 100 ミクロン | | 212F ローラー温度（参考） | 312F ローラー温度（参考） |
|---|---|---|---|
| コピー用紙 | 2~3 | 110 ℃ | 114 ℃ |
| カタログ | 5~6 | 120 ℃ | 123 ℃ |
| 写真 | 7~8 | 126 ℃ | 130 ℃ |

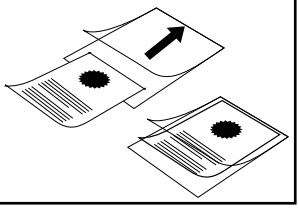
★設定温度を下げる時は、15分以上放置してから加工してください。

④約5～10分後に、レディランプ‘緑’が点灯し、ラミネート可能なことを知らせます。ブザー音が4回なります。

※設定温度により時間は異なります。

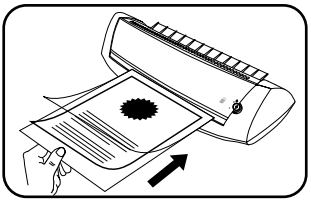



★ラミネートするものをパウチフィルムのシール部全巾（接合部）の奥まで余白のないようにきちんと入れてはさんでください。



**★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。**

⑤シールされた側からフィルムを通し、フィルム挿入口へまっすぐに差し込んでください。



**⚠ 警告**

マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

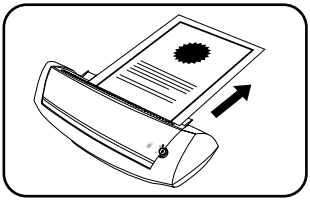
**⚠ 警告**

ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になることがあります。
万一引き込まれたときは電源スイッチを‘オフ’にして取り除いてください。

**⚠ 注意**

間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。

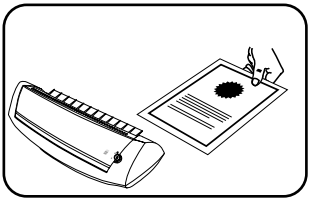
⑥パウチフィルムがマシン背面のフィルム取出口から出てきます。



**重要**

※フィルムが出てこない場合は、直ちに電源ボタンを押して電源をオフにしてください。次に、12ページの説明に従って取り除いてください。

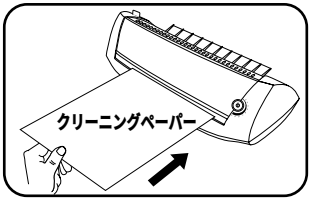
⑦ラミネートされたフィルムをマシンから取り出し、平らなところへ置いてください。約1分間冷却して完了です。



## 連続ラミネートをする場合

★連続してラミネートする時は、必ず前にラミネートしたものをフィルム取出口から取り出した後で、次のパウチフィルムをフィルム挿入口に入れてください。

⑧ラミネートが完了しましたら、ローラーを清掃するために、同梱のクリーニングペーパーをフィルム挿入口より入れてください。この作業を数回繰り返してください。（温度が高い状態の時に実施してください。）




## ローラークリーニング

★ローラーが汚れていますとフィルムを巻き込む原因となりますので、加工後は必ずクリーニングを行って汚れを取り除いてください。

★クリーニングペーパーがない場合は、厚手の紙（画用紙程の厚さ、200g/m²程度の厚さの用紙）を使用してください。

★二つ折りにした紙を使用する場合は、必ず折った方から入れてください。また、コピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻き込む恐れがありますので、使用しないでください。

## オートシャットオフ機能

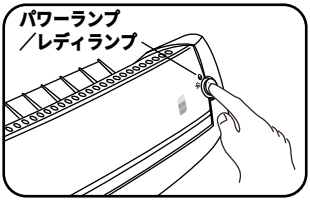
★電源が入ったまま1時間以上ご使用されない場合は、安全の為に自動的に電源が切れます。再度ご使用になる場合は、電源ボタンを押して電源を入れなおしてご使用ください。

# フィルム詰まりトラブル解消方法（リリースレバー）

**ラミネート加工時に、フィルム取出口から加工されたものが出てこない場合は、全てのフィルムが機械内部に引き込まれる前に下記のような処置をしてください。**

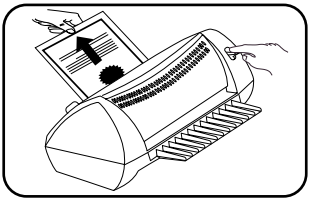
**①直ちに電源ボタンを押して、電源をオフしてください。**

**パワーランプ／レディランプが消灯します。**



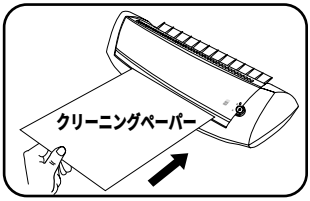

**②マシン背面にあるリリースレバーを押しながら、加工物を必ずフィルム挿入口から引き戻してください。フィルム取出口から引き出しますと、故障の原因となりますので絶対にお止めください。**

**※下まで押し下げないで引き戻すと、内部機構を損傷する場合があります。**



**③必ずローラーをクリーニングしてください。**

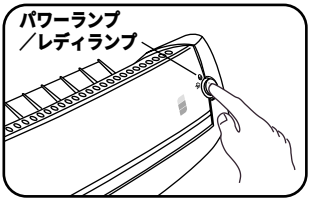
**11ページのローラークリーニングを参照。**



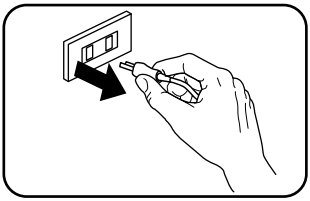
## 7・お手入れ方法

**①電源ボタンを押して、電源をオフしてください。**

**レディランプの発光が消えます。**

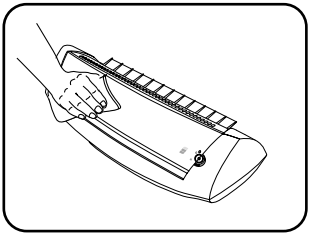



**②電源プラグをコンセント（100V）から抜いてください。**



**③やわらかい布でから拭きをしてください。**

**※お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。**



**★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。**

**※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。**

### ⚠ 警告

**ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。**

**※感電や思わぬけがをする恐れがあります。**

## 8・こんな時は

| 現　象 | 原　因 | 対処法（参照ページ） |
|---|---|---|
| 電源が入らない<br>(パワーランプがつかない) | ◇電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？ | 電源プラグを正しくコンセントに入れてください。（9ページ） |
| | ◇電源ボタンが‘オン’に入っていませんか？ | 電源ボタンを押してください。パワーランプ‘赤’が点灯していることを確認してください。（9ページ） |
| ホットラミネートができない | ◇パワーランプ‘赤’が点灯していますか？ | 電源ボタンをオンに入れて、パワーランプ‘赤’を点灯させてください。（9ページ） |
| | ◇レディランプ‘緑’が点灯していますか？ | 温度設定ダイヤルを回して温度を設定して、レディランプ‘緑’が点灯するまでお待ちください。（10ページ） |
| | ◇クーラーの冷気が直接当たっていませんか？ | クーラーなどの冷気から離してご使用ください。（3ページ） |
| ラミネートフィルムがはがれる | ◇紙以外の材質のものをラミネートしていませんか？ | 紙専用のラミネーターです。紙以外のものはホットラミネート加工をすることができません。また、コーティング処理された紙、油分を含む特殊紙は加工できません。（6ページ） |
| ラミネートされた加工物が波を打っている | ◇ラミネート温度が高すぎます。 | ラミネート温度の設定を下げてください。（9ページ） |
| ラミネートされた加工物の表面が曇っている | ◇ラミネート温度が低すぎます。 | ラミネート温度の設定を上げてください。（9ページ） |
| ラミネートフィルム表面が汚れる | ◇ローラーのクリーニングをしていますか？ | 同梱のクリーニングペーパー、もしくは厚手の紙を使用して、ローラーをクリーニングしてください。（11ページ） |
| ラミネートフィルムが取出口から出てこない | ◇パウチフィルムがラミネーターの中に詰まっています。 | リリースレバーを押して、フィルム挿入口側から詰まった加工物を引き出してください。（12ページ） |

## 9・製品仕様

| 商品名 | パウチラミネーター | |
|---|---|---|
| | 212F | 312F |
| 品番 | GLM212F | GLM312F |
| サイズ(W) x (D) x (H) | 400 x 173 x 118 mm | 476 x 173 x 118 mm |
| 質量　kg | 3.0 kg | 3.6 kg |
| 電源 | 100 V, 50/60 Hz | 100 V, 50/60 Hz |
| 消費電力 | ●●● W | ●●● W |
| 最大ラミネート幅 | A4（241mm） | A3（317 mm） |
| 最大ラミネート厚 | 0.8 mm | 0.8 mm |
| ラミネート速度 | 28(50Hz)，32(60Hz)cm / 分 | 28(50Hz)，32(60Hz)cm / 分 |
| ラミネート温度 | 常温、105～136 ℃ | 常温、110～138 ℃ |
| 加熱方式 | 外部加熱方式 | 外部加熱方式 |
| ウォームアップ | 約 5~10 分 | 約 5~10 分 |

# 保証とサービス

★保証書は内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
販売店印、お買い上げ年月日の記入の無いものは無効となりますのでご注意ください。

★保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき、無償修理または交換いたしますのでお買い求めの販売店、または、弊社へお申し出ください。

（1） 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
- a 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- b お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
- c 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷。
- d 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。
- e 本書の掲示のない場合。
- f 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- g 本機は専門処理業者様の業務用途には適しません。

（2）ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社へご相談ください。

（3）本書は日本国内においてのみ有効です。

（4）本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

（5）補修用性能部品保有期間は製造中止後5年間です。
同等機種との交換により修理対応とさせて頂く場合もございます。

**修理メモ**

**お客様相談窓口　：東京本社　　03-5351-1801（代）**

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または当社へお問い合わせください。

キ　リ　ト　リ　線

# パウチラミネーター　保証書

| | |
|---|---|
| 品　　名 | パウチラミネーター 212F / 312F |
| 品　　番 | GLM212F / GLM312F |
| 保証期間 | １年 |
| ｼﾘｱﾙNo. | |

| | |
|---|---|
| ★お買上げ日 | 年　　月　　日 |
| ★お　客　様 | ご芳名<br>ご住所<br><br>TEL　　（　　） |

★印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

ＧＢＣ製品をお買い上げいただきありがとうございます。
保証期間内に、取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で故障した場合には本書記載内容に基づき、お買い上げの販売店が無償修理いたします。お買い上げの日から左記保証期間内に故障した場合は商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

| | |
|---|---|
| 販売店 | 住所／店名<br><br>TEL　　（　　） |

GBC®
日本ジー・ビー・シー株式会社
www.gbc-japan.co.jp
A Subsidiary Of ACCO Brands Corporation
〒164-0012　東京都中野区本町1-32-2　ハーモニータワー
TEL. 03(5351)1801

**個人情報のお取り扱いについて**

本保証書にご記入いただいたお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動や保証期間経過後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。お客様の個人情報は当社にて厳重に管理いたしますが、修理のために、当社から修理委託する保安会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございます。その場合は当社が厳重に管理いたしますので、あわせてご了承ください。